



# 内田えつし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

## JR京葉線の混雑緩和策で要望

●浦安市特集● 9月定例県議会一般質問



若さと情熱、行動力で東京都と境を接する葛南地区に新風を送り込む内田悦嗣(うちだ・えつし)県議Ⅱ浦安市選出Ⅱ。浦安市議から県議会へと活動の舞台をステップアップさせ、都市住民の多様化するニーズに応えながら、都市政策や保健医療・福祉問題などに取り組んでいます。9月定例県議会では、当選後初めて一般質問に立ち、JR京葉線の混雑緩和策、浦安2期地区住宅基本計画、仮称・堀江橋の架橋問題、県保健医療計画などで堂本県政の姿勢をたえました。その模様を特集します。

短期

# ダイヤ編成の工夫

長期

# 複々線化で

**要望** 今後、京葉線のダイヤ編成の工夫、複々線化の促進、京葉線の混雑緩和策、浦安2期地区住宅基本計画、仮称・堀江橋の架橋問題、県保健医療計画などについて、堂本県政の姿勢をたえました。その模様を特集します。

利用はもっと増えていくと思われる。快速な通勤通学、利便性の確保という観点から、次の運輸政策審議会の答申に、京葉線の複々線化を盛り込んでいくよう、県として働きかけていく必要があると思う。

民の駐車場として、あるいは駅周辺では自転車駐輪場として利用されている。市民にとって、この利便性の高い用地が今後どのように扱われていくか、その対応が大いに懸念されている。

現状では複々線化が難しいこと、企業庁が事業収束に向けている中で、複々線用地は今後、地元市と協議し市民の利便性が損なわれないような対応を強く要望する。

浦安2期計画変更

## 境川河口に排水機場を

現状を考えると、ぜひとも土地活用計画の変更の中で、排水機場について位置づけていただきたい。

内田 浦安地区第2期住宅基本計画をこの時期に変更する理由は何か。  
企業庁長 現計画が平成7年度に改定したもので市川2期地区埋立計画を前提としていたことなどから、道路計画や業務系施設用地などの土地利用を見直す必要が生じました。  
内田 高潮対策としての境川河口の水門・排水機場をどう認識しているか。  
企業庁長 浦安市が内水排除や高潮対策の観点から、

境川河口の水門・排水機場の必要性調査を実施して、調査結果をもとに河川管理者と協議の予定と聞いています。その協議状況をみて必要な検討をしてまいります。

**要望** 境川の排水対策・高潮対策として逆流防止ゲート、必要ならゲートポンプもつけていただきたい。境川河口の排水機場について、私は将来的に必要だと思っている。道路冠水が起こるなどの

### 内田えつし県議プロフィール

○経歴○

- 昭和40年 浦安市(当時町)堀江生まれ
- 昭和63年 浦安市役所入庁(在職14年4ヶ月)
- 平成15年 浦安市議会議員当選
- 平成19年 千葉県議会議員当選

○現職○

- 県議会 議会運営委員会委員
- 文教常任委員会委員
- 政務調査会審議委員
- 組織委員会委員
- 青年局青年部常任幹事
- 広報委員会委員

県政や浦安市のご相談はお気軽にどうぞ

内田えつし 県事務所

〒279-0041

浦安市堀江3-22-1

TEL.047-351-6030

# 「堀江橋の架橋は必要」

## 県、都との調整会議で課題解決

**浦安市特集**  
**9月定例県議会**  
**一般質問**



9月県議会一般質問で再質問に立つ内田県議

内田県議が主張してきた県議会改革が前進しています。  
内田県議は政務調査費の使途の明確化、常任委員会の議事録のあり方、地方議員の身分の保障問題などを求め、県議会議長の下に設置された「あり方検討会」で検討されてきました。

### 進む議会改革 費用弁償は実費 全委員会を録音

このうち、6月県議会で議会開会中の交通費などといった費用弁償制度の見直しが進んでいます。  
9月県議会では、議会運営委員会を含めたすべての委員会を録音することになりました。また、会議録についてもこれまでの要筆筆記から逐語筆記とすることになりました。内田県議がめざす透明性のある議会運営が着実に進展しています。

内田 仮称・堀江橋の架橋計画の進捗状況は。  
県土整備部長 浦安市内の都県境では、旧江戸川に架かる、限られた橋梁に交通

# 「一刻も早い整備着工を」

内田 本年6月に開催された東京都側との調整会議の話し合いの内容は、沿道住民への説明はどうか。  
県土整備部長 去る6月に開催した東京都との「道路橋梁整備調整会議」では、現地で橋梁部周辺の現状を確認し合い、事業手法や整備時期などの課題について意見交換しました。

また、課題の解決に向け、今後とも「調整会議」の場を活用することを確認したところであります。  
なお、沿道住民への説明については、計画の熟度に応じて、その機をとらえながら行ってまいりたいと考えております。

### 要望 次の整備開発保全の方針には必ず位置づけ、一刻も早く整備に着手することを強く要望する。

## 都県境 医療機能の役割分担協議

内田 保健医療計画の見直しの中で、東京都側との連携はどう考えているか。  
知事 平成17年の患者調査では、同年10月の特定日に千葉県民で医療機関に入院



保健医療問題で県がんセンターを視察する内田県議

していた約4万5200人のうち、約2300人が都内の医療機関に入院。逆に都内に住む約3700人が千葉県内の医療機関に入院していた事実があります。  
従って東京都をはじめ茨城県や埼玉県と医療機能の役割分担などを協議し、お互いの地域住民にとって、より良い医療提供体制となるよう検討していきます。

内田 地理的条件をどのように考慮して基準病床数を設定していくのか。  
知事 地理的条件などの自然的条件や日常生活の需要の充足状況、交通事情等の社会的条件を考慮して圏域の病床数を定めています。

### 要望 都県境の医療体制の充実、また水に囲まれている浦安・行徳地区の医療体制の充実のために、実効性のある保健医療計画となるよう進めていただくこと、そして医療施設用地が確保されている場合には速やかな誘致ができるように配慮願いたい。

### 9月県議会自民党代表質問

**財源不足が拡大、新税源も「検討」**  
9月定例県議会で最大会派の自民党代表質問に阿井伸也県議が山武郡選出、3期目が立ち、財政、医療、道路、農業、教育問題などを取り上げた。  
阿井県議は「20億円にも拡大した財源不足をどうやって解消するのか」と質問。堂本知事からは「赤字団体の転落への崖っぷちに立っている。県税の滞納整理や未利用県有地の売却などによる歳入確保を進め、あらゆる財源確保策を検討し、経費の削減に一層努めると答弁。新たな税源についても「幅広く検討する」と答えた。  
医師確保策では、県独自の制度として私立大医学生への修学資金制度や後期臨床研修医への研修資金貸付制度などを創設したが、植田浩副知事は「当該事業で確保できた医師はまだいない」として事業内容を改善する考えを示した。

**内田えつし**  
UCHIDA ETSUSHI